

## 第Ⅱ部 韓国の場合

### —韓国における比較文学比較文化

第Ⅱ部の発表を担当させていただきます韓国、釜山大学日語日文学科准教授の韓程善と申します。よろしくお願ひいたします。第Ⅱ部では、現在の時点で、韓国の大学・大学院における「比較文学比較文化」の教育の実態を明らかにすることを目標とし、昨年から実施しております調査の成果をご紹介しますと思います。今日の発表の順番ですが、まず、「比較文学比較文化」教育調査の方法の概要について説明させていただきます。次に、調査から得られたものを、統計・数値化してご提示し、最後に、韓国の大学・大学院における比較文学比較文化の教育の特徴をまとめてお話しさせていただきます。

#### 「比較文学比較文化」教育調査の概要

今回の調査の目標は、先ほども申し上げましたように、韓国全国の大学における比較文学比較文化の教育の全体像を把握することです。それで、当初は、日本の場合と同様に、網羅的かつ徹底的な「シラバス調査」を通して、2021年度の科目情報を収集し、表にまとめる計画を立てました。しかし、実際にシラバス調査をはじめてみたら、韓国の場合は、すべての大学でシラバスをウェブ上に公開しているわけではなく、シラバスが一般に公開されていない大学も多数ある、ということがわかりました。その時点で、仕方なく調査方法を修正し、以下の二つのルートで調査を実施しました。①シラバスをウェブ上に公開している大学の場合は、<シラバス検索>を活用し、②シラバスをウェブ上に公開していない大学の場合は、大学ごとに、人文系の各学科のホームページにある<カリキュラム>を参考にしながら、「比較文学比較文化関連科目」の有無を確認して、可能な限りの情報を収集する、という二つのルートで調査を行いました。

また、もう一つ現実的な問題として浮かび上がってきたのが、調査対象とする大学をどこまでにするか、ということでした。ここで、韓国の大学の事情について、少し説明させていただきます。韓国統計庁のデータ(2021年度)によりますと、韓国の大学数は一般大学、専門大学、教育大学、産業大学を合わせて、計336校となります。そのなかで、比較文学の教育と直接関連すると考えられる「一般大学」の数は、190校です。今回の教育調査の実施にあたっては、一般大学190校の中から、大学の規模や知名度、国公立と私立の割合、地域などを考慮した上で、最終的に50校の大学を対象としました。これは、韓国にある一般大学の、約四分

の一に当たる範囲です。

調査対象とした50校の大学目録<sup>1</sup>は、次の通りです。【表1】には、大学名、大学の所在地、国公立・私立、比較文学関連科目の有無をまとめました。

【表1】調査対象とした大学リスト

	大学名	所在地	国公立/私立	関連科目の有無
1	嘉泉大学	京畿道	私立	×
2	カトリック大学	ソウル	私立	○
3	江原大学	江原道	国立	×
4	建国大学	ソウル	私立	○
5	京畿大学	京畿道	私立	×
6	慶北大学	慶尙北道	国立	○
7	慶尙国立大学	慶尙南道	国立	×
8	慶熙大学	ソウル	私立	○
9	高麗大学	ソウル	私立	○
10	光云大学	ソウル	私立	○
11	国民大学	ソウル	私立	○
12	檀国大学	京畿道	私立	○
13	大邱大学	大邱広域市	私立	×
14	東国大学	ソウル	私立	○
15	同徳女子大学	ソウル	私立	×
16	東亜大学	釜山広域市	私立	×
17	明知大学	ソウル	私立	×
18	釜慶大学	釜山広域市	国立	×
19	釜山大学	釜山広域市	国立	○
20	祥明大学	ソウル	私立	○
21	西江大学	ソウル	私立	○
22	ソウル大学	ソウル	国立	○
23	ソウル科学技術大学	ソウル	国立	×
24	ソウル市立大学	ソウル	公立	○
25	ソウル女子大学	ソウル	私立	×
26	成均館大学	ソウル	私立	○

1 韓国の場合、ソウル及び首都圏に大学が集中しているため、調査対象大学の半数以上がソウル所在の大学になりました。また、韓国の行政区域・17個広域市道を考慮して各地の主要国立大学および私立大学を選別しました。

	大学名	所在地	国公立/私立	関連科目の有無
27	誠信女子大学	ソウル	私立	○
28	世宗大学	ソウル	私立	○
29	淑明女子大学	ソウル	私立	○
30	崇實大学	ソウル	私立	○
31	亜州大学	京畿道	私立	×
32	延世大学	ソウル	私立	○
33	嶺南大学	大邱広域市	私立	×
34	蔚山大学	蔚山広域市	私立	×
35	原光大学	全羅北道	私立	×
36	梨花女子大学	ソウル	私立	○
37	仁荷大学	仁川広域市	私立	○
38	仁川大学	仁川広域市	国立	×
39	全南大学	全羅南道	国立	×
40	全北大学	全羅北道	国立	○
41	済州大学	済州道	国立	×
42	中央大学	ソウル	私立	×
43	忠南大学	忠清南道	国立	○
44	忠北大学	忠清北道	国立	×
45	KAIST	大田広域市	国立	×
46	浦項工科大学	慶尙北道	私立	×
47	韓国外国語大学	ソウル	私立	○
48	翰林大学	江原道	私立	×
49	漢陽大学	ソウル	私立	×
50	弘益大学	ソウル	私立	×

【表1】にご提示した通りに、全国の50校の中、2021年度に比較文学関連科目を開講した大学は、ちょうどその半数に当たる25校でした。シラバス調査の際には、比較文学、比較文化、異文化、翻訳、受容、対照など予想されるキーワードで検索して調べました。

ここでは紙面の関係上、「関連科目の有無」だけを表にご提示しましたが、シラバスとカリキュラム調査から採集できた、可能な限りの情報を「大学名/学部・院/学部名/専攻・教養/半期・通年/担当教員/担当教員の専攻/科目名/科目概要/対象とする地域/教科書」の順にエクセル表にまとめています。

ここで調査の概要をもう一度まとめて申し上げますと、韓国の大学において「比較文学比較文化」という学問がどのように教育されているかを明らかにするため、韓国の大学の四分の一に当たる大学を調査対象として、シラバス調査およびカリキュラム調査を実施しました。その際、調査の対象とした時期は、日本と同様に2021年度のシラバスを基準にした、ということになります。

## 「比較文学比較文化」教育調査の結果

それでは、調査から確認できた結果をより具体的にご紹介したいと思います。

まずは、量的調査の結果として、韓国では一つの大学で平均的にどれぐらいの比較文学関連科目を開設しているかをみてみます。先ほど申し上げましたように、50校の大学の中、関連科目を設けられているのは、25校でした。その25校の大学で開講した比較文学関連科目の合計は、86個です。そもそも50校の大学を対象にしたので、それを平均で言いますと、一つの大学で「1.5科目」しか開講されていないということになります。本調査以前、韓国における比較文学関連科目の開講実態を調査した資料は見当たらないので、この数値が過去に比べて増加しているか減少しているか、その推移までは判断できません。しかし、現時点において比較文学という学問が、韓国の大学の内部で確固たる地位を獲得しているとは言い難い状況です。これがまず科目数の統計から確認した量的調査の結果です。

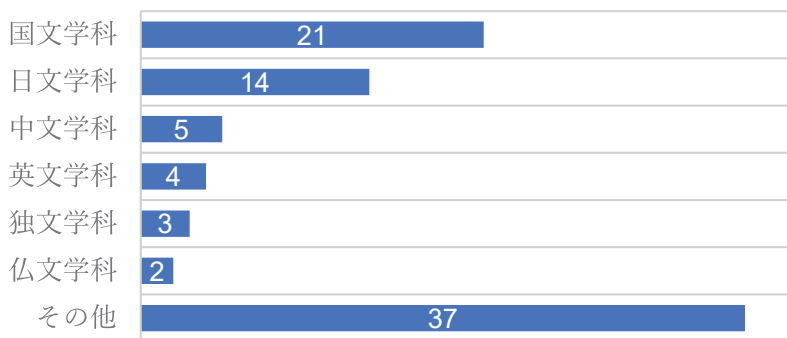
次に、比較文学教育の方向性および傾向などを推察するために、「科目名」に着目してみます。86個の科目名は、比較文学論、比較文学の理解、比較文学研究、韓日比較文学、東アジア比較文化論など、科目名に「比較」が付く場合が、全体の81%でした。その他、19%は、「受容」、「文学と他芸術」、「翻訳」、「○○文学と○○文学」、「対照」という科目名で開設される場合がありました。調査の方法上、特にカリキュラム調査の場合は、該当年度の具体的な授業内容や担当教員、教材などは確認できないため、例えば「比較文学の理解」といっても、その中身を推測することは難しいし、科目名と実際の教育内容が一致していない場合もあるだろうと思います。しかしながらそれでも採集データから推察できたのは、「韓日比較文学」、「韓中比較文学」、「東アジア比較文学」のように東アジア地域を中心とした比較文学の教育内容が多いということです。また、少数ではありますが、文学に留まらず「文学と他芸術」のように比較芸術の教育も行われていることがわかりました。

「科目名」につづき、比較文学関連科目を「開設している学科」を分類して数値化してみました。【表2】でご提示したように、国文学科が21個で一番多くて、その次に日文学科が14個、中文学科が5個、英文学科が4個、独文学科3個、

仏文学科2個の順になっております。開設した学科と開講科目名を合わせてみると、やはり東アジアを中心とした比較文学教育が行われていることが改めて確認されます。ちなみに、「その他」が37個にもなっているのは、大学院の比較文学協同課程の科目が「その他」に入ったためです。

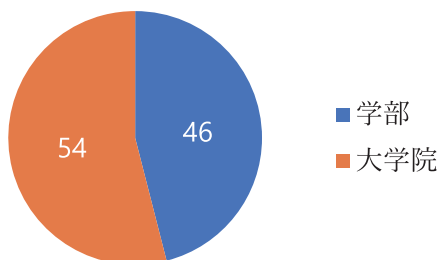
「開設している学科」と関連して注目したいのは、韓国には学部で「比較文学科」が設置されている大学がまだ一ヶ所もないということです。韓国の比較文学者たちの間で、比較文学という学問が教育される制度的な装置が十分ではないという指摘は、長年ありました。しかしながら、今でもまだ独立した学科がないのが現実です。(延世大学の国際学部にも、すべての授業が英語で行われるCLC専攻(Comparative Literature and Culture, 2005年設立)がありますが、これは非常に例外的なケースだと言えます。)

【表2】



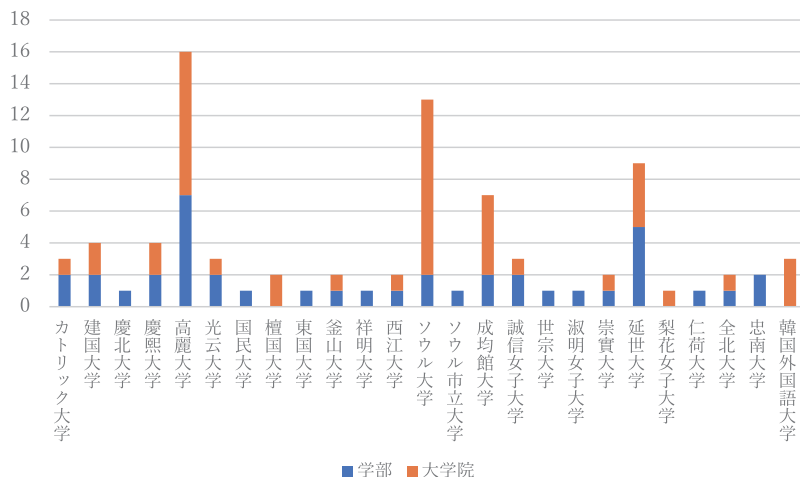
では、学部と大学院の割合を確認してみます(【表3】)。86個の授業のなか、学部の科目が40個、大学院の科目が46個で、大学院で開講される場合が半分以上を占めていました。私が調べた限り「比較文学協同課程」が設けられている大学院は、五ヶ所—ソウル大学、延世大学、高麗大学、成均館大学、韓国外国語大学—ありました。46個の科目は、五つの大学院から開講した科目が大多数です。こうしてみると、実際に学部では比較文学の教育はほとんどなされていないことがより明確であり、非常に限られた大学院で比較文学の教育が行われていることが明らかになります。

【表3】



【表4】をご覧ください。【表4】は、関連科目が開講された25校の、科目数をグラフにまとめたものです。25校の中、4つの大学が目立つということがお分かりになるかと思います。左側から読んでみますと、「高麗大学」「ソウル大学」「成均館大学」「延世大学」になります。偶然ではないと思いますが、この4つの大学は、韓国の大学順位の、一位から四位にあたる大学です。

【表4】



## 大学院の学際間協同プログラム (Interdisciplinary Program) 中心の教育

韓国の比較文学教育の中心となる4つの大学院—ソウル大学大学院の協同課程比較文学専攻 (1998年設立)、延世大学大学院の比較文学協同課程 (1998年設立)、高麗大学大学院の比較文学比較文化協同課程 (1998年設立)、成均館大学大学院の比較文学協同課程 (1999年設立) —の教員は、国語国文学科や英語英文学科、仏語仏文学科、史学科、哲学科、宗教学科などに所属しながら、学際間協同プログラム中心の教育を実施しています。

大学ごとに少し方向性は異なりますが、おしなべて最初 (1990年代後半) 協同課程として開設された頃には、各国文学史をもとにした各国文学の現象的比較を中心に教育課程が構成されていました。しかし、文学研究の領域が拡大することに従って、教育課程も文学と歴史、哲学、社会学など人文社会科学との学際的学問テーマに拡張され、最近では音楽、美術など比較芸術に拡大されました。さらに、ファッション、広告、テレビドラマなど多様な大衆文化も比較文学の領域内で扱

い、文化間コミュニケーション、多文化、少数文化、ジェンダー、融合文化などのキーワードで比較文化へと教育領域を拡大している状況です。隣接学問との活発な学際的教育を通じて本格的な研究成果も蓄積されています。このように韓国の大学で比較文学比較文化関連科目は決して多くはないですが、韓国の優秀な大学で25年間教育が続けられています。

最後に、現在韓国における比較文学比較文化の教育状況をまとめてお話しさせていただきます。韓国の比較文学比較文化の教育は、少数の大学院を中心に行われていると言っても過言ではありません。学部では独立した学科はまだなく、ソウル大学、延世大学、高麗大学、成均館大学、韓国外国語大学などの大学院で比較文学課程が設けられて、学問後継世代を養成している状況です。比較文学教育は限られた大学院が中心となっていますが、韓国に比較文学という学問は厳然と存在しています。韓国比較文学会が創立したのが1959年であり、学会誌『比較文学』は1977年に創刊され今に至っています。また、2010年には国際比較文学世界大会を開催したこともあります。

このような状況の中、最近、韓国の比較文学研究者たちの間では、比較文学の教育の重要性が指摘されています。韓国比較文学会の会長、イ・ヒョンジン氏は、2021年に発表した論文「比較文学の正典化と教育」<sup>2</sup>で、海外の比較文学界との疎通強化とともに「比較文学の教育方法論と教科課程の開発に対する学会での論議と責務感が、比較文学の持続可能性と拡張性を構築していく上でもっとも重要な土台」であると強調しています。

比較文学という学問の特徴である交差と衝突、接触と疎通という脈絡から考えると、「研究」領域に留まらず、多様な海外の比較文学の「教育」現場との関係設定は、非常に大事だと思います。韓国と日本の比較文学教育の未来を考える上で、日韓比較文学教育の現在をともに点検することは、非常に有意義な作業だと思います。

2 イ・ヒョンジン「比較文学の正典化と教育」、『比較文学』85、韓国比較文学会、2021年、7～44頁。